

レジメン名

Ph陰性ALL地固め療法(G1)

出典 JALSG ALL202

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

Ph陰性ALL(60歳以上*)

進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

* 出典では65歳未満だが、田所医師より上記で登録と。

投与減量の基準

その他			

1クール期間

総クール数

1,4クール目

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

WBC	3000/mm3未満	ANC	1500/mm3未満※
Plt	10万/mm3未満※		
その他	※4クール目では ANC 1000/mm3未満 Plt 8万/mm3未満で中止		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
メトレキサート	15mg/body	髄注		d1
デキサメタゾン	3.3mg/body	髄注		d1
シタラビン	1000mg/m2/ 回 を1日2回	輸液500mL	3時間	d1-3
エトポシド	100mg/m2	輸液500mL	3時間	d1-3
デキサメタゾン	33mg/body		30分	d1-3

1日投与順 (経時的にプレメタキオン・ホストメタキオン、 溶解液まで含む)
d1 ①メトレキサート15mg+生食2-6mL(髄注) ②デキサート3.3mg(髄注)
day1 ①グラニセトロン3mgバッグ+デキサート 33mg(30min) ②キロサイド1000mg/m2+輸液500mL(3hr) ③ラステット100mg/m2+輸液500mL(3hr) ④生食50mL(フラッシュ用)
①と12時間あけて ⑤グラニセトロン3mgバッグ(30min) ⑥キロサイド1000mg/m2+輸液500mL(3hr) ⑦生食50mL(フラッシュ用)